

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ウェディングデザイン（儀礼服飾） Wedding Design (Ceremony Fashion)		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟 3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>結婚式（ウェディング）における衣装について、女子・男子の洋装・和装を学ぶ。また、人生の通過儀礼の服装について、デザイン、着装法をはじめ、歴史、意味、関連産業などについて学ぶ。若い学生にとって、結婚式は人生最大の行事である。ウェディングデザインやセレモニーファッションのコーディネート知識を持つことは重要である。ウェディングデザインを主として、セレモニーファッションの知識・技術・関連産業について学び、プランナーやアドバイザーとしての知識と技術を身につけることを目的とする。</p>				
授業の目標				
<p>①婚礼衣裳について、洋装・和装の衣裳デザイン、着装法、素材、構成法などを説明できるようにする。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるよう知識、着装法の技術を身につけられるようにする。③人生における儀礼行事の服装について、子供から大人まで、知識と着装法などが説明できるようにする。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につけられるようにする。⑤国家行事や国際的な行事の服装について、儀礼的な知識を習得する。</p>				
授業の方法				
<p>実物や資料を使用しての授業を教室にて実施。貸衣裳店での実情理解のために学外授業を1回行う（12月1週目）。特に大手貸衣裳店の実情を理解する中で、それぞれの衣裳のデザイン、着装法、コーディネート法などを学ぶ。興味を持って授業に臨むためにレポートと、知識確認のためにミニテストを実施する。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>①婚礼衣裳について、洋装・和装の衣裳の特徴、着装法、素材、構成法などを説明できるようにする。②実社会でコーディネーターやアドバイザーとして仕事ができるよう知識、着装法の技術を身につけることができる。③人生における儀礼行事の服装について説明できる。④装飾品としてのコサージュやブーケ、フラワー装飾について知識と技術を身につけることができる。⑤国家行事や国際的な行事に関して、儀礼的服飾の知識を得ることができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、 人生通過儀礼の歴史と慣習			9/24
第2回目	ブライダル業界の現状・関連産業			10/1
第3回目	ウェディングドレスデザイン①新婦・洋装	デザイン、素材、着装法		10/8
第4回目	ウェディングドレスデザイン②新郎・洋装	デザイン、素材、着装法		10/15
第5回目	洋装における 昼・夜のフォーマル、 参列者のマナー			10/22
第6回目	ブライダルのスタイル、キリスト教式、神前式、仏前式、人前式			10/29

第7回目	トータルコーディネートとコーディネートの考え方、まとめ [小テスト] 11/5	
第8回目	日本のきもの（和装） ①和装の結婚式の変化 歴史・概説 11/12	
第9回目	日本のきもの（和装） ②子供の成長祝い＝宮参り、七五三、成人式、結婚式 11/19	
第10回目	日本の婚礼衣装（和装） （打ち掛け、白無垢、紋付羽織袴）特徴と着装法 11/26	
第11回目	学外授業（篠崎貸衣裳店）貸衣裳の種類と特徴、着装法、業務等を学ぶ[レポート] 12/3	
第12回目	日本の婚礼スタイル、美容・着付け・貸衣裳のスタイリスト業務、業界の実情 12/10	
第13回目	日本のきもの ③ 訪問着、社交着としてのきものTPO、卒業式の袴姿の着装、（きもの着装練習） 12/17	
第14回目	宮中行事（TPOの原点）、新春の和文化と着物生活、人生の節目の衣装と行事関連、長寿祝い [レポート発表] 1/7	
第15回目	海外事情、ひな祭り行事、プロトコール、喪服 1/14	
事前・事後学習	事前：行事と服装の関係（洋装・和装）に興味を持つ。事後学習：積極的にきもの着装や和文化に興味、関心を持つ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、積極的に自分の意見を述べるなど、評価の対象とする。
レポート	20%	課題の内容（第11、14回）を適切にまとめ、期限内に提出されているか評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	それぞれの授業内容が理解され、設問に答えられているかを評価する。
試験	40%	学習した内容が理解されているか、評価する。S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「きもの読本」、授業時に資料を配布する。FORMALWEAR STANDARDS MANUAL 参考：ブライダル関連雑誌		
履修上の留意点・ルール		
積極的な授業参加を望む。コサージュ造りは実費負担（授業内で相談）。授業中の携帯使用厳禁。私語は慎むこと。		